

2023年3月29日発表

報道関係者各位

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

JPRS が『JP ドメイン名レジストリレポート 2022』を公開

- JP ドメイン名の登録数が 170 万件突破、指定事業者変更申請への認証コード導入など -

株式会社日本レジストリサービス（以下 JPRS、本社：東京都千代田区、代表取締役社長 東田幸樹）は、本日、JP ドメイン名の登録管理業務に関する 2022 年の年次報告書、『JP ドメイン名レジストリレポート 2022』を公開しました。

- ・ JP ドメイン名レジストリレポート 2022 (PDF)
<https://jprs.co.jp/doc/report/registry-report-2022.pdf>



本レポートは、インターネット社会の基盤を支える高い公益性と競争力が必要とされるドメイン名の登録管理業務について、JP ドメイン名のレジストリ（登録管理組織）である JPRS が、その活動内容を広く一般に公開することがインターネットの一層の健全な発展に資することになるとの考えに基づき、2004 年より毎年公開しているものです。

JP ドメイン名全体の登録数は、2022 年 6 月に 170 万件を突破しました。2023 年 1 月 1 日付で 1,721,137 件となり、2022 年 1 月 1 日時点と比較して 40,464 件の増加となりました。

JPRS は、JP ドメイン名登録管理業務を含むサービス全体のコンセプトとして掲げる四つの柱である「信頼性」「安定性」「利便性」「経済性」について、それぞれのバランスを適切に保ちながら、それらをより高度なものにすることに努めています。2022 年も、サービスの更なる改善はもちろん、国内外のイベントや会合への参加、ドメイン名や DNS に関する情報

発信などインターネットの安定運用のための活動を継続すると共に、以下を始めとする取り組みを行いました。

【2022年の主な取り組み】

- ・ JP ドメイン名における登録者の意図しない指定事業者変更申請自体を発生しにくくする方策である「認証コード (AuthCode)」の導入
- ・ 新 gTLD の日本語ラベルに関する業界標準ルール策定への寄与
- ・ インターネットの仕組みについて学べる小冊子や ccTLD を楽しく学べるポスターの全国教育機関への無償配布、情報教育 Web サイトの開設
- ・ DNS ソフトウェアの脆弱性に対する注意喚起や啓発といった情報発信活動

JPRS は、今後もネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献するため、よりよいサービスの提供に努めてまいります。

■株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

<https://jprs.co.jp/>

ドメイン名の登録管理とドメインネームシステム (DNS) の運用を中心としたサービスを行う会社。2000年12月26日設立。JPRSはネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献することを企業理念として活動しています。

■参考 URL

1. 『JP ドメイン名レジストリレポート 2022』公開のお知らせ
<https://jprs.jp/whatsnew/notice/2023/20230329-registry-report.html>
(2023年3月29日公開)

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社日本レジストリサービス (JPRS) 広報宣伝室

TEL: 03-5215-8451 FAX: 03-5215-8452

E-mail: press@jprs.co.jp

<https://jprs.co.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-8-1 千代田ファーストビル東館
